



高温期

秋冬露地野菜

の種まき・育苗ポイント

～ブロッコリー・キャベツ・ハクサイ編～

株式会社 サカタのタネ
直売部 通信販売課

本日の目次

①「ブロッコリー・キャベツ・ハクサイ」の種まき・育苗方法

17:05～17:25

②サカタのタネおすすめ野菜品種の紹介

17:25～17:40



種まき～発芽まで

■種をうまく発芽させるためのポイント

発芽適温に近い地温、適度な水分、酸素がそろった条件が大切です！

・発芽適温

ブロッコリー :20～25℃

キャベツ :15～30℃

ハクサイ :15～20℃

**発芽適温に近づけることがうまく発芽させるための
最重要ポイント！！**

発芽適温に近づける方法①

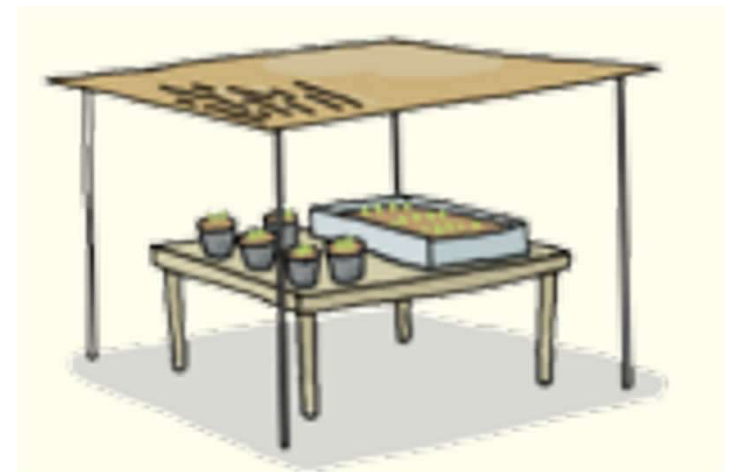
・発芽までの水やりは、夕方 of 涼しいときに行いましょう

⇒暑い時間帯の水やりは、地温が気温と同じかそれより高く、
発芽適温以上となり、発芽不良となる可能性があります。

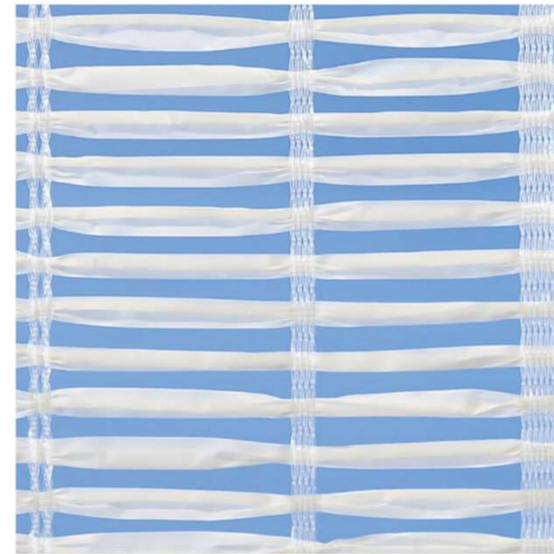
・よしず、寒冷紗、遮光ネットや日陰の場所などを利用して、直射日光による
高温を避けましょう

⇒一般的な遮光ネットの場合、遮光率50～60%がおすすめです

・徒長防止のため、高床にする等風通しをよくしましょう



おすすめの遮光ネット



クールホワイト620SW
通常価格2,880円(税込)

チタンホワイト+温度上昇防止剤入りの遮光・遮熱ネットです。白色による高い光線透過率で、明るさを保ちつつ遮熱します。夏場の育苗や露地栽培のトンネル掛けにおすすめです。

発芽適温に近づける方法②

■このような方法も可能なら効果的です

- ・発泡スチロールの箱に保冷剤を入れて、その上にまき箱やトレーを置く
- ・エアコンを効かせた室内で発芽させる

種まき～発芽～育苗(定植直前まで)適度な水分、酸素を得るための方法

- ・種まき・育苗は、雨よけでの管理が基本になります。
- ・種まき後、たっぷり水をやりますが、夏場はすぐに乾きますので、乾燥には注意が必要。
- ※一方、水のやり過ぎは土中で種が呼吸できなくなります。

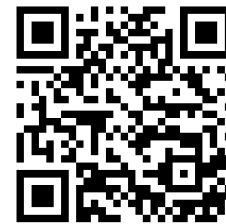
表土が乾いてきたら、すぐに水やりするのではなく、
表土を5mmほど軽く削って、
土の中が乾いていたらたっぷり水をやりましょう！

- ※「たっぷり」とは、ポットやセルトレーの下から水が出てくるくらいの水やりです。
- ※覆土は通気性に優れるバーミキュライトがオススメです。

おすすめの散水ノズル



ZETTO散水ノズルMS700
通常価格8,030円(税込)



穴径約0.35mm、穴数約1301個の特殊噴板で超柔らかな散水と大水量を同時に実現。大水量なのに柔らかな散水なので、散水時間を短縮でき、用土を固めず、土もふんわり軟らか。育苗やデリケートな植物への散水におすすめです。

発芽～育苗まで

・苗は**日照不足**と**水分過多**で徒長します。

■日照について

発芽後は**日なた**で管理をします。

発芽したら日に当て、日中は風に当て、乾かし気味に育てます。

日が昇り直射日光で高温になってきたらよしず、寒冷紗、遮光ネットなどで遮光し、日が傾いて温度が下がってきたら剥がすことで、昼間の高温をしのぎます。

ただし、**曇天**や**降雨**の日は遮光はしません。

発芽～育苗まで

■水管理について

- ・朝、水やりして、夕方には土の表面が乾いているとよいです。夕方にまだ十分に土が湿っているようだと**水分過多**です。
⇒**夕方には乾き気味になるように調整しましょう。(←これが一番大切！)**
夜、土が湿っていると節間が伸びやすく(徒長)なります。
- ・昼間の水やりは葉が焼ける危険があるので、基本、早朝に行いましょう。
- ※昼間カラカラに乾燥してきたら、昼間も水やりを行うことになります。
その場合、夕方には乾き気味になるくらいの量を行います。
- ※曇天や降雨の日は、乾いているところのみ、夕方乾き気味になる程度、水をやりましょう。
- ※セルトレーの外側は乾きやすいので注意が必要です。

苗の定植方法

- ・**老化苗**の定植は、根の活着や生育が悪くなるため控えましょう。
- ・ポット育苗では間引き遅れにより徒長することもありますので、本葉1枚までに1本に間引きします。

■定植適期

ポット苗 : 本葉5～6枚

セルトレー苗 : 本葉2～3枚



ポット苗



セルトレー

※「もみ殻」は乾燥防止のため必須ではありません。

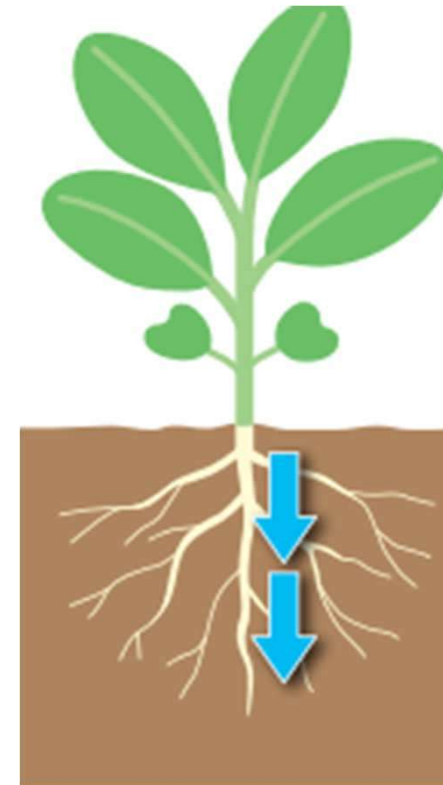
苗の定植方法

乾燥が続いているときは定植前日に植え穴へ約1Lの水を入れましょう

定植前日に植え穴に水を入れることで、地中まで水が通る道ができます。

そうすることで、定植後に根が水を求めて下に伸びていきます。

(※地表近くは暑さや乾燥の影響を受けやすいため、地中まで根を伸ばしておくとそのようなストレスも軽減できます。)



苗の定植方法

定植時は、弱い水圧で地中にゆっくりと染み込ませるように水やりをします。

定植時に「ネイチャーエイド 有機の液肥」を500倍に水で薄めて施すと、根張りや活着がよくなるのでおすすめです。



550g

20kg

ネイチャーエイド 有機の液肥

通常価格

550g 1,210円(税込)

20kg 7,620円(税込)



トウモロコシから作られた、有機質肥料では数少ない液体タイプの肥料。水溶性の各種アミノ酸、ビタミン、ミネラルを豊富に含みます。液状なので植物が栄養を早く吸収でき、速効性の肥料として植物の生育や回復に役立ちます。

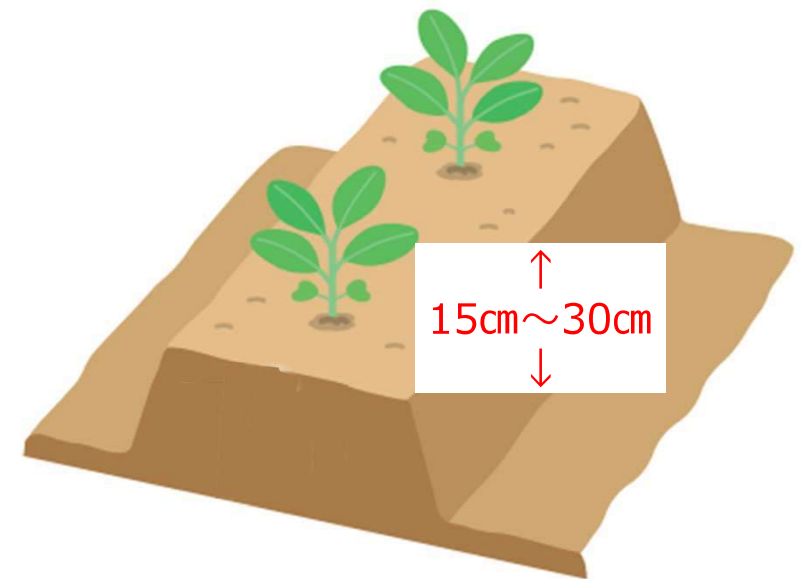
・使用方法

育苗～定植後の栽培まで使用可能です。

水で500倍に薄めて葉面か株元に施します。

苗の定植方法

- ・台風などで、畑が冠水してしまうと植物が著しく弱ってしまいます。
水はけをよくするために、**苗を定植する畝はなるべく高くしましょう。**
- ・目安は15cm～30cmくらいの高さです。
- ・併せて畑に水がたまらないように、畑に溝を掘って水の通り道をつくっておくとよいでしょう。



秋冬の低日照・低温時におすすめの液肥

アラフェスタ

ALA(アラ)と鉄の力で植物のエネルギー源(糖)をつくる光合成が活発になります。植物の成長に欠かせない栄養素も配合しており、曇天、低温、台風などで弱った植物の回復をサポートします。



100mL



1kg

・使用方法

1000~2000倍(水1L当たり1~0.5mL)に薄めて、1~2週間に1回の間隔で葉面に散布してください。

100mLボトル



1kgボトル



通常価格

100ml 1,980円(税込)

1kg 12,320円(税込)